



学校だより

12月号 (第196号)

令和5年11月30日発行

横浜市立並木中央小学校

学校長 齋藤 由美子

震災時のトイレ事情を知って

校長 齋藤 由美子

スクリーンに映されたのは、大地震の際の避難所で、汚物にまみれた便器の写真。「避難所にいた方々は、こんなに大変だったのか…。自分の身近でこんなになったらどうしよう…。」参加された方々は、皆、そう思ったに違いありません。

先日、連合自治会主催の「災害時のトイレ問題について考えよう」というテーマの講演会に参加した時のことです。講師からは、避難所でのトイレ事情が事細かに話されました。大地震発災後、一番最初に必要なものは食料でも水でもなく「簡易トイレ」だということも避難所のアンケートから分かりました。「避難所のトイレが詰まり使えなくなると、飲食を我慢する人が出てくる。トイレが汚いとストレスが溜まり、ケンカが起こり、胃腸炎で嘔吐、下痢、便秘などを起こす人も増える。トイレでない場所で排泄をする人が増え、雨と共に汚物が流れ出る。」聞けば聞く程、耳をふさぎたくなるような現実でした。こうなる前に必要なことが、便器に「携帯トイレ」をいち早くセットすることだそうです。「携帯トイレ」とは、簡単に言えば、便器にポリ袋を設置し、その中に排泄し、凝固剤等で固めるもの。学校の授業中に大地震が起きた時、保護者に引き渡すまでの間、学校も「携帯トイレ」を使って安心して機能させることが必要だと思いました。子どもたちには、朝会でも伝えました。インターネットで検索すると様々出てきますので、ご家庭の備蓄のご参考までに。

最後に…、子どもたちは今日、クラスごとに練習をしてきた長縄の回数を更新すべく、元気よく長縄集会に臨みました。全校で合計回数目標が1400回と設定されていましたが、見事1768回を達成！仲間で1つのことに挑戦し、笑ったりけんかしたりしながら、互いの理解を深めていく姿です。この集会だけでなく、子どもたちは様々な活動や経験を通して、コミュニケーション力や自信をさらに身につけていきます。私たち大人は、子どもたちの力を信じ、見守っていききたいものです。

保護者・地域の皆様、インフルエンザも流行っています。体調にはご留意いただき、よい年末・年始をお迎えください。

小中ブロック校 共通スローガン あいさつで 心豊かな 一日を

